

身体			知的	精神	その他
上下肢・内部	視覚	聴覚			

※対応する障がい種別に○を記入すること。

対象障がい種別毎の訓練実施体制

<p>1. 訓練内容・カリキュラム内容</p> <p>(1) 提案科目に係る障がい者の求人ニーズ・求職ニーズ（在職者訓練の場合は勤務先企業・受講者のニーズ）をどのように把握・分析し、訓練目標・仕上がり像を設定したのか、具体的に記載してください。</p> <p>(2) 訓練目標・仕上がり像に対応した人材とするために、科目の設定や時間配分等をどのように工夫したのか、具体的に記載してください。</p> <p>(3) 受講者によって障がいの種別・程度が異なる中で、どのように訓練を実施しようとしているか、習得が遅れている場合のフォロー体制も含め、具体的に記載してください。</p> <p>(4) 障がい特性に対応した訓練とするため、訓練運営スタッフ・講師等の人員体制をどのように工夫したのか、具体的に記載してください。（例：相談しやすい環境づくり、職員研修の内容等）</p>
<p>2. 支援機関や医療機関との協力体制のほか、充実した訓練を行うために工夫した点があれば、具体的に記載してください。</p>

- ・障がい種別毎に作成すること。（身体障がいの内訳で複数の障がい種別を対象とする場合は、その内訳の障がい種別毎に作成すること。）
- ・枠内に書ききれない場合は、別紙に記入し添付すること（A4用紙（両面）2枚以内）。